令和6年度 第6回 北区自治協議会 議事概要

日 時 令和6年10月24日(木) 午後1時30分から

会 場 豊栄地区公民館 大講堂

出席者 委員

菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、
佐藤(康)委員、前田委員、恩田委員、清水(博)委員、佐久間委員、佐藤(茂)委員、
清水(文)委員、小熊委員、三浦委員、石山委員、寺山委員、横山委員、野口委員、
小林委員、伊藤委員、遠藤委員、
日下委員、川島委員、佐藤(哲)委員
計23人(欠席:阿部委員、有田(一)委員、皆川委員、渡邊委員、
竹島委員、有田(竜)委員)

事務局〔北区役所関係〕

北区長、副区長兼地域総務課長(以下「副区長」)、区民生活課長、
健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、消防局北消防署、
豊栄地区公民館長、北区教育支援センター長、地域総務課長補佐2人、
地域総務課職員4人

〔中央図書館〕

中央図書館長補佐

〔土木総務課〕

土木総務課長補佐

計18人

傍聴1人

1 開会

前田会長

それでは、お手元の会議次第をご覧ください。本日の会議は、会議次第のとおり、次第2の報告事項が4件、そして次第3のその他となっております。不慣れではありますが、円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、最初に次第2の報告事項(1)読書バリアフリーの推進についてです。それでは、中央図書館の皆様からご説明をよろしくお願いいたします。どうぞ。

2 報告事項

(1) 読書バリアフリーの推進について

中央図書館館長補佐

皆様、こんにちは。中央図書館の館長補佐をしております、高橋と申します。日ごろより図書館行政にご理解、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

本日はお時間をいただきまして、読書バリアフリーの推進についてご説明させていた

できます。着座にて失礼いたします。

それでは、資料番号1をご覧ください。「1 新潟市読書バリアフリー推進計画の策定」についてです。今年4月に計画を策定いたしました。障がいの有無にかかわらず、すべての市民が読書を通じて、文字・活字文化の恩恵を受けることができる社会を目指し、生涯に渡る学びや成長を支える読書活動を推進していきます。

2の「計画の対象」ですが、目が見えない方、見えづらいという方や、読み書きの障がいなど発達障がいのある方、それから本が持てない、ページがめくれないという方など、活字による読書が難しい方を対象としております。これは、障がい者手帳の所持の有無は問いません。

3の「今後の予定」についてです。読書バリアフリーについて、多くの方の認知度を高めるため、情報発信に取り組んでいきたいと思っております。

それでは、もう1枚ある「読書のバリアフリー」というリーフレットをご覧ください。こちらは、自分に合った読書の形はどんなものだろうということで、耳で聞く、それから文字の大きさや背景色を変えて読む、触って読むというさまざまな読書の形の紹介や、読書をサポートする機器、道具の紹介をしております。このリーフレットは、学校や公共施設のほか、広く配布する予定でおります。ご一読いただき、ご家族、ご友人、お知り合いなどにお声がけいただければと考えております。

また、中央図書館なのですけれども、中央区にあります中央図書館のエントランスを会場に、10月3日から11月5日まで、読書バリアフリー関連展示を行っておりますので、機会がありましたら、ぜひ足を運んでいただければ幸いです。

今後も、誰もが利用しやすい書籍や電子書籍などの数を増やし、1人ひとりの見え方、読書の難しさに対応する円滑な利用の支援を進めていきたいと思っております。説明は以上となります。ありがとうございました。

前田会長

高橋副館長、ありがとうございました。それでは、皆さん、何かご質問とか。

伊藤委員

日ごろより図書館を利用している伊藤です。実は自分の地域の学校の図書館だよりで、このバリアフリーについてお知らせがありました。新潟市全部の学校でそういう周知、学校図書館支援制度はあるのかなど、一利用者として疑問があったのですが、まず情報の周知ということが大事だと思うので、その辺お聞かせください。

中央図書館館長補佐

はい、ありがとうございます。計画の中には、もちろん公共図書館を利用する方だけではなく、子どもたちも計画の中に対象として入っております。特に支援を必要とする児童・生徒が在籍する教育機関においては、読書環境を保障しますと計画の中で示してあります。取り組みを進めていく予定についてですが、学校に対しては、この読書バリアフリーのリーフレットとは別に、学校向けのリーフレットを作成する予定でおります。これは特別支援学校や特別支援学級だけではなく、通常学級の子どもたちにも、広報・周知につ

いて取り組みを進めていく予定であります。また、教職員や学校図書館の司書に対しても、読書バリアフリーについての支援方法の研修などを行う予定であります。

ありがとうございます。

前田会長

はい、ありがとうございました。伊藤さん、よろしいですか。

伊藤委員

はい。

前田会長

ほかに何か、ご質問等ございましたら。はい。

小林委員

私、小林と申します。私もよく図書館を利用させていただくのですが、返却のときに、窓口にこう持っていきますよね。そうすると、ピッピッとイわせて、「ありがとうございました」とおっしゃってくれるのですが、いろんな不特定多数の人が触るわけですから、消毒ということはどういうふうになっているのでしょうか。

中央図書館館長補佐

今のところ、コロナの対策としてというわけではないですけれども、汚れたとか目立つようであれば、もちろんふき取りはしています。返却されたすべての本1冊1冊に消毒するという事は、今のところ行ってはおりません。これは新潟市の図書館、どこも行っていないと思います。例えばウイルスだとか、細菌だとか、一定期間置くと、やっぱりそれが半減するとか、全滅というわけではないですけれども、時間とともに減っていくという研究結果は出ておりますので、特に1冊1冊除菌をすとか、そういったことは行ってはおりませんでした。

小林委員

はい、ありがとうございました。

前田会長

はい、ありがとうございました。ほかに何か。はい、川島さん。

川島委員

川島です。インターネットによるサービスということですが、今中央図書館のほうでは、例えば本をインターネットで読みたいなといった場合は、そういうのはできるようなサービスはあるのでしょうか。

中央図書館館長補佐

はい、ありがとうございます。新潟市の図書館では、令和4年の3月に、新潟市電子図書館を開設しております。こちらは、新潟市の図書館で登録していただくと、貸出カードを発行するのですが、そのときに「パスワードは必要ですか」とお聞きしております。このパスワードは、インターネット上で図書館のホームページからパスワードを発行して予約ができたり、蔵書検索をしてから、そのあと自分が読みたい本を予約したり、自分が借りている本が何か、返却期限はいつなのかというような情報がネット上で、スマホやパソコン、タブレットから見られるようになっております。そのあと令和4年の3月に、電子図書館が開設されまして、図書館のホームページ上に新潟市電子図書館というボタンがありますので、そこから同じパスワードと貸出カードの番号で入っていただくと、電子書籍が見られるようになっております。

前田会長

よろしいですか。

川島委員

はい、了解です。ありがとうございます。

前田会長

高橋副館長さん、ありがとうございました。

それでは、次に次第2の「報告事項（2）にいがた雪の日辞典の発行について」ということで、土木総務課の中山さん、よろしく申し上げます。

（2）2024 にいがた雪の日辞典について

土木総務課

皆さま、お疲れ様です。土木総務課の中山と申します。自治協議会の貴重な時間を頂きまして、大変ありがとうございます。本日は、昨年度より引き続き作成しておりますパンフレット、「にいがた雪の日辞典」の説明をさせていただきたいと思っております。

まず、パンフレットの説明に先立ちまして、新潟市が行っております、大雪に関する市民広報の取り組みについて説明したいと思います。報告資料の2をご覧ください。令和3年1月に、新潟市内では短期的な異常降雪に見舞われたところでございます。新潟市では、このときの除雪対応で表面化したさまざまな課題について、外部の有識者や関係団体等の皆様から広く意見を集め、相互に共有するとともに、持続可能な除雪体制への改善につなげるため、新潟市除雪体制等検証会議において検証を行いました。令和4年7月に最終的な取りまとめが行われ、除排雪の効率化、市民広報の積極的な展開、PDCA サイクルの構築という、この3つを柱とする提言書が出されたところでございます。

その中の、市民広報の積極的な展開というところで、大雪は災害であるという、理解浸透を図ること、また大雪時の行動変容を促すこと、除雪体制の市民周知を図ることとい

うところで、これらに基づき、さまざまな取り組みを行ってきたところでございます。

降雪期の前には、各種媒体を活用した広報活動であるとかイベントなどを実施しております。また降雪期になりますと、日ごろから大雪の備えですとか、最新情報の確認を促すための、市のホームページについて特設ページを開設する、また大雪時には不要不急の外出を抑制するなどの情報発信を行っているところでございます。

今回紹介します「にいがた雪の日辞典」は、これら的大雪に関する市民広報の取り組みの1つとして、昨年度より全戸配布させていただいているもので、このたび2024年度版の内容に更新したものになっております。

お手元にパンフレットがあるかと思えます。パンフレットの中身について、少し説明させていただきます。「2024年度版にいがた雪の日辞典」をご覧ください。基本的には、昨年度のものを時点修正した内容になっております。自助・共助・公助の視点、市民の皆様へのお役立ち情報の掲載、SNSを活用したプッシュ型の広報の推進を基本の柱とし、新たに6ページになりますけれども、冬道の安全走行、13ページに凍結防止剤の散布、15ページに異常降雪時の出控えのお願い、16ページに異常降雪時の情報発信、そして18ページに、市民の皆様より問い合わせの多かった、電線類の垂れ下がりの対応についてというところを加えまして、去年のものは16ページで構成しておりましたが、今回は20ページまでページ数を増やしまして、作成しております。

この中で、特に皆様にお知らせしたいこととしましては、15ページの、異常降雪時の出控えのお願いについてです。近年、雪が短期間にかつ集中的に降る傾向にあります。昨年の12月も、1日に50センチ雪が積もるというドカ雪になった日がありましたけれども、いま一度大雪は災害であるというところを皆様に認識いただきまして、市民の皆様に出控えなどをお願いしたいという内容になっております。

関連しまして、16ページお聞きいただきたいと思えます。16ページでは、大雪の異常降雪時、先ほどの50センチ積もるような日のことですが、その際の情報発信について紹介しております。新潟市の公式LINEに登録いただきますと、大雪の警戒レベルに応じて、情報を事前に受け取ることができます。そういった情報を見ていただき、出控えですとか、予定の変更など、大雪時の行動について考える際の基準にいただければと思っております。

パンフレットの中身全般ですが、新潟で育った人であれば当たり前のようなことが書いてあるところも多いかと思えますが、初めて新潟に来られた方でも雪の暮らしについて理解でき、役立つものとなっております。

なお、すでに冊子の形で皆さんにお配りしておりますが、表紙の写真を変更する作業を行っておりまして、完成形は皆さんにお配りしたのではなく、写真が変更となったものとなりますので、あらかじめご了承くださいと思えます。

パンフレットの配布ですが、11月中旬から下旬にかけて、自治会・町内会を通じて各ご家庭に配布いただきたいと考えております。皆様におかれましては、大変なお手間をおかけすることになりますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。以

上で土木総務課からの説明を終わります。ありがとうございました。

前田会長

中山さん、ありがとうございました。それで、これから質疑に入りますけれども、今回の質疑は、「雪の日辞典」についてということでございます。北区の除雪に関しては、11月の自治協議会で北区建設課より、今年度の方針の説明がある予定です。北区の除雪に関する質問については、本日机上に配布しておりますが、事前にご提出いただきたい。今回の質疑は、この「雪の日辞典」に限って行います。

何かご質問とかご意見がございましたら。はい、川島さん。

川島委員

14 ページなのですけれども、除雪状況ということであります。幹線道路について、恐らく北区もそうだと思うのですけど、幹線道路、市道でしょうかね、そういうところは除雪の状況は、いわゆるスマホとかそういうので調べられるということだと思うのですけれども、例えば幹線じゃなくて細い道の除雪状況の公表は考えているのでしょうか。

土木総務課

はい、ありがとうございます。14 ページの、「除雪状況の公表」というところになるかと思いますが、今現在公表しておりますのが、幹線道路のみという形になっております。やはり生活道路、自分の家の前はいつ除雪が来るのかなというところは、正直気になるところではあるのですが、今のシステム上、そこに載せてしまうと、膨大なデータ量になってしまいますので、現時点では幹線のみという形で公表させていただいております。

前田会長

先ほど、大雪は災害であると。一般の皆さんは、ドカ雪が降っても、仕事があるのに何をしているのだと、自治会長あてに苦情がきます。大雪は災害であるところを、企業とか地域といいますか、新潟市なりで共有できるような、そういう条例など。意識の普及をどのように進めるお考えがあるのか、お聞きしたいと思います。

土木総務課

はい、ありがとうございます。こちらは、今後の最大の課題というところでとらえております。大雪は災害なので、出控えを考えてくださいと、企業の方へ商工会議所を通じてなんですけれども、働き掛けをさせていただいております。あわせて学校関係も、休校などの対応はどうでしょうか、と働きかけをしております。学校が休校になると、会社勤めの方は子どもを見るために休む必要があるなど、いろんな部分が絡んできますので、徐々に大雪は災害であるという認識を、少しずつでも広めていくことで、会社で「じゃあ明日、明後日は大雪になりそうだから、少し出勤時間遅らせる」とか、そういうふう意識が変わっていくように、なかなかすぐに成果というわけにはいきませんが、広報をさせてもらっております。

前田会長

ありがとうございました。ほかに何か、ご質問とかご意見。はい、伊藤さん。

伊藤委員

中身がわかりやすくて、私も LINE 登録して随時情報をいただいております。一方、日本語がわからない方について、どうやって情報を伝えるのか、例えば、除雪のときの車移動や、ごみ捨てなどについて、地域で声をかけるのか。情報の提供について、お聞かせください。

土木総務課

はい、ありがとうございます。今回「雪の日辞典」を作成しまして、各家庭に配布するということです。当然新しく新潟市に来られた方もおられますので、そういった方については、各区役所の窓口にも「雪の日辞典」を配置いたしますし、主要なところにも配置させていただきまして、周知を図っていこうと思っております。

また、ポスターも各所にはらせていただきまして、そこからアクセスできるような形もとらせていただきたいと思いますと考えております。

伊藤委員

あと日本語版ばかりですので、簡易版でいいので外国語も。

土木総務課

現状としてまだ日本語版しかないという状況ですので、今後またそこは別冊の、別物としての外国語版、もしくはホームページで多言語表記みたいなどころをできるように考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

伊藤委員

ブックスタートでは、外国語でブックスタートの紹介文章作成し、ラミネートしたものを、各ボランティアに配布し、日本語が分からない方が来られたらときに、対応できるようにしているものですから、大雪に関しては命にもかかわることなので、簡易的なものでもいいですが、きちんと伝わるような工夫をと願っております。

土木総務課

ありがとうございます。研究させていただきます。

前田会長

はい、ありがとうございました。伊藤さん、よろしいですか。ほかに何かございますか。では、ないようであれば、土木総務課の中山さん、大変ありがとうございました。

それでは次に、次第2の「報告事項（3）令和5年度区づくり予算事業の報告について」ということで、事務局から報告をよろしく願いいたします。

(3) 令和5年度区づくり予算事業の報告について

地域総務課

地域総務課長の江戸です。

これから、各所管課長から自席にてご説明させていただきます。

最初に地域総務課分です。「大学連携「ひと・まち」づくり推進事業」について、1ページをご覧ください。新潟医療福祉大学の学生が、ひと・まちづくりパートナーとして地域コミュニティ協議会や小中学校などに出向き、地域活動支援や学校部活動支援などを行いました。そのほか、活動報告会を開催、また、その内容を報告書として作成し、各地域、小中学校に配布しました。令和6年度以降は、本事業内容が大学の演習になったこともあり、新たな内容で大学と連携した事業を行っています。

次に、「北区郷土博物館 地域魅力発信事業」について、2ページをご覧ください。令和5年度は、展示ホールの照明増設工事や、葛塚縞の展示コーナーの展示台を作成して、展示の充実に努めました。

次に、区自治協議会提案事業です。3月の自治協議会で、議事事項として事業の評価をいただいておりますので、簡潔にご説明します。令和5年度は、各部会で地域課題の解決に向けた調査研究を行ったところです。まず、地域づくり部会について、15ページをご覧ください。地域づくり部会では、防災を調査・研究のテーマに設定し、「長岡震災アーカイブセンターきおくみらい」に視察研修に行きました。また、ワークショップなどを行ったところです。

次に、福祉教育部会について、16ページをご覧ください。福祉教育部会では、地域活動の担い手不足という、地域課題の解決に寄与する事業に必要な調査研究とし、地域の茶の間の活動についての学習や、区民アンケート調査を行いました。

最後に、自然文化部会について、17ページをご覧ください。自然文化部会では、自然環境の保全、自然環境活用、観光交流等の分野の地域課題の解決に寄与する事業に必要な調査研究として、福島潟の視察や、北区郷土博物館などの視察を行いました。これらの調査研究を生かし、現在委員の皆様には、自治協議会提案事業に取り組んでいただいております。地域総務課分は以上となります。

区民生活課

区民生活課高野です。3ページにお戻りいただきまして、区民生活課では、「水辺ふるさとづくり事業」を実地いたしました。ひょうたん池、十二潟、濁川自然生態観察園で、地域団体と協働で、近隣の小学校と連携し、水辺環境の保全を行うとともに、生息する動植物の観察会を実施し、魅力ある水辺環境づくりを推進しました。来年度以降も継続し、地域の宝を広く知ってもらえるよう取り組んでいく予定です。区民生活課は以上です。

健康福祉課

健康福祉課です。4ページをご覧ください。1つ目、「スクスクきたっこプロジェクト」

です。子育ての支え合いや地域で子どもを支える取り組みとして、早通健康福祉会館での多世代交流カフェや子育て支援講座を、下記の回数開催させていただきました。また、令和6年2月12日に、児童の健全育成を推進することを目的として、ふゆっこまつりを開催させていただきました。2,000名という多くの方にご参加いただきました。

続きまして、5ページをご覧ください。「独居高齢者の栄養・口腔に関する大学との共同調査」を実施しました。これは、令和5年度の単年の事業ですが、新潟医療福祉大学、新潟大学とも連携をして、特に南浜地区にあります独居高齢者の調査を行いました。なお、大学は今年度も継続して調査を行っているところでございます。

続きまして、「北区もの忘れ健診」です。認知機能の低下を早期に発見し、適切な治療、サービスにつなげることで、認知症の進行を遅らせ、地域で安心して暮らすことができるように、平成29年度から区内の13の医療機関にご協力をいただきまして、実施しております。令和5年度につきましては、受診者819名ということで、結果としてはそちらにありますように、異常なしが804名、そのほか要経過観察者が3名、要精密検査が12名というような結果を得ております。今後につきましても、その13医療機関と連携をしながら、周知啓発を続けていきたいと考えております。

健康福祉課からは以上になります。

産業振興課

続きまして、産業振興課になります。7ページからお願いいたします。「海辺の森共創の場形成事業」です。海辺の森の保全活動への支援、それからコミュニティビジネスなどの活動支援、あと昨年度、第二展望塔近くにトイレを新設したことに伴います附帯工事、周辺整備などを行っております。

続きまして8ページ、「次世代農業」普及事業」です。北区農産物のブランド力強化として、いろいろな販売促進ツール、キャンペーン等を行いました。また北区のトマト、主に葛塚、それから濁川トマトについて、ICTを使った栽培技術という形で、令和5年度はベテラン農家の方から使っていただきました。令和4年度は新規就農者に使っていただいて、令和5年度はベテラン農家の方に。勘に基づいて農作業するのと、機械に基づいて農作業をするのは、どのような違いがあるのか、実証実験を行いました。良かった面、悪かった面というような形で。総じて機械を使っていくと、勘によらずとも、いいものが作れたというような結果になっております。

続きまして9ページ、「地域商業にぎわい創出プロジェクト」です。豊栄地域では、おむね月2回やっている葛塚市に合わせて開催した「うまいもん市場」を計15回。それから北新潟地域ですと、松浜市場に合わせて「こらっせ松浜」、「ファイト松浜」というようなイベント、それから「キテ・ミテ・キタ区役所」という、大きなイベントを行いました。地域商業の賑わいに寄与しております。

続きまして、10ページになります。「キタクなる魅力創造プロジェクト」になります。北区観光モニター事業という形で、新潟医療福祉大学の学生に週1回インスタグラムで北区の魅力を発信していただくという取り組みを去年から始めました。夏前に確認しましたところ、毎週大体1,000人の方から閲覧いただいております。かなり広まってきたかなと考えております。また、ござれや花火のシャトルバスの運営補助、それから民間バスツアーに

ついて、昨年度は5本やっております。

続きまして、11 ページ、「北区エンジョイスポーツ事業」になります。こちら、おおむね秋に開催しておりますけれども、各スポーツ団体によるエンジョイスポーツ in 北区、そして1月1日、今年で56回目になりますけれども、「元旦歩こう会」への補助、開催をやっております。

続きまして、12 ページになります。「産学官まちなかりノベ事業」になります。こちら葛塚地域におきましては、旧中常楼をラグーナスクエアという形で市民の交流スペース、それから大学の活動拠点という形で開設いたしました。今年度は、新潟日報カルチャースクールや、大学の市民講座等が行われており、大広間はだいぶ予約が埋まってきています。あとは、チャレンジショップも入れていきたいという計画ですので、そちらの計画も進めていきたいと思っております。

それから、松浜地域では、主に若手の方、起業したい方向けに、空き家を活用した起業カレッジ（松浜リノベーションカレッジ）を行っております。昨年度は、松浜出身以外の方で14名にご参加いただき、今年度末、来年の3月までに開業を目指している方が1名おります。開業、なかなかカレッジで勉強したからといってすぐにはできないのですが、時間をかけて、若い起業の芽を、松浜地域で育てていきたいというふうな形でやっております。今年度は7月に開催いたしまして、13名の若手の方に参加いただいております。

以上で産業振興課の説明を終わります。

建設課

最後に建設課です。よろしくお願ひします。13 ページを開いてください。「松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業」についてです。毎年松浜海岸における飛砂防止の軽減と、自然環境の保全を目的に、アキグミの植栽と飛砂防止ネットの設置を行っております。植栽に関しては、保水性を保つために堆肥を入れたりとか、なるべく砂が飛ばないように密集させて植えたりとか、工夫しながら実施しております。今年は、先週17日、今日ちょうど新潟日報に載ったのですが、小学生のわいわい楽しく植える姿を見ることができました。今後も継続していきたいと考えております。以上です。

地域総務課

報告は以上となります。

前田会長

はい、ありがとうございます。それでは、今のご説明に何かご意見とご質問ありましたら、お願いいたします。はい、川島さん。

川島委員

7ページなのですけれども、「海辺の森共創の場形成事業」について。海辺の森、私たちがマラソン大会等の計画をしております。やはり海辺の森で何がシンボルなのかなと思っていると、やはり展望台だなど思っております。今、展望台が実は時間制限されております。確か8時半から16時30分でしょうか。あの展望台から、やはり五頭連邦、飯豊連

峰に来る朝日、あるいは佐渡に落ちる夕日、こういうのが素晴らしい。また、朝早く、ミサゴという鳥がいるのですが、それが海の中にえさを取りに行っています。それを撮影する人もいます。夜は星座を見ることができます。そういうことで、1日中見るようにしたらいかがでしょうかという提案をしたいと思います。

よろしく願いいたします。

産業振興課

はい、ありがとうございます。私も産業振興課に来て2年半になりますけれども、展望台のことを意見いただくのは初めてでして、ありがとうございます。展望台、ちょっと古くなって修繕しないとイケないねというような議論は出ておまして、そちらの検討をしておりました。運営時間というところにつきましては、私も今初めて伺いましたので、こちらどのような経緯で時間が限定されているのか確認させていただきまして、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

前田会長

ほかに何かご質問とかご意見ございますか。ありませんでしょうかね。はい、それでは、担当部署の皆さん、大変ありがとうございました。

それでは、次に、次第2の「報告事項（4）部会会議概要でございます。各部長さんから報告をお願いいたします。地域づくり部会、それから福祉教育部会、自然文化部会の順に、ご説明をお願いいたします。

（4）部会会議概要

地域づくり部会

地域づくり部会です。第4回の8月分は、資料をご覧ください。9月26日開催分の報告をさせていただきます。北区かるたの作品の応募状況や今後のスケジュールを確認しました。作品の応募は、学校単位での応募がかなりありまして、予想を上回る、全体で300作品を超える応募がありました。課題として、応募がない、もしくは少ない音がありまして、そこをちょっと埋めるように部会で検討を行いました。

そして9月29日開催のキテミテキタ区フード&防災フェスタに出展し、「あ・み・そ」の3音について、来場者にシールを貼ってもらう形で投票を実施しました。ここにいらっしゃる皆さんからもたくさんご協力いただきまして、大変ありがとうございました。そして投票してくださった方には、備蓄の氷砂糖を配布しまして、防災というか備蓄に関する意識もちょっとつけていただけたのかなというふうに思います。

また、10月上旬に、北区防災士の会のご協力をいただきまして、予備選考の実施をしました。今日これから行われる部会で、札の最終選考を実施予定です。2月9日に行われる「北区ふゆっこまつり」で、かるたの体験会を予定しています。以上です。

福祉教育部会

それでは、福祉教育部会の報告をいたしますが、報告はお手元の会議概要をご覧ください

さい。また、講演会のチラシを見ていただきたいと思いますのですが、11月16日、これまでも準備状況は報告してまいりましたが、最終的にこのような形で開催をすることになりました。ぜひ皆さん方も、こういうのに興味あるような方を知っていらっしゃたら、ぜひ声かけをしていただいて、参加を呼びかけていただければありがたいかと、思っています。

以上です。

自然文化部会

自然文化部会です。9月22日の福島潟自然文化祭で潟来亭を借りてトークセッション、「潟料理の魅力を語る」とか、クイズをやるということで、景品も用意しまして、準備万端すべて整っているところだったんですが、21日から降り続いた雨が、22日も完全に雨と風ということの予報が出まして、雨の状態と風がすごく、その日は福島潟自然文化祭の屋外でのイベントがすべて中止になってしまいました。ただ、景品等がまだ残っている関係で、いろいろ検討した結果、11月23日に、ビュー福島潟の6階で改めて開催することになりました。9月22日のイベントに申し込みがあった方に連絡を取り、出ていただいて、クイズもやろうということで今計画をしております。以上です。

前田会長

はい、ありがとうございます。今の件で何か質問とかありますか。いいですか。

それでは、次に次第3の「その他」に移りたいと思いますが、ここで事務局のほうからご報告よろしくをお願いします。

事務局

北区の除雪に関する意見用紙を本日机上配布させていただきました。11月28日の自治協議会におきまして、北区建設課より、北区の除雪に関する報告が予定されております。意見用紙により、事前に意見を頂きまして、11月28日に建設課から回答させていただければと考えております。原則1人3問までということで、11月21日木曜日までにご提出をいただければと思います。よろしくお願いたします。

前田会長

はい、ありがとうございます。それでは、委員の皆さんから何かご意見とかございますか。それでは、ないようであれば、これで終わりたいと思いますが、皆さんからご協力いただきまして、大変ありがとうございました。

事務局に進行をお返ししますので、よろしくお願いたします。